



代表取締役 社長執行役員

白居 賢

株主の皆様へ

初冬の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この上半期は新型コロナウイルスの影響により、自動車や電子機器の生産が世界的に落ち込んだことから、主要顧客である電子部品業界の荷動きが減少し、厳しい経営環境となりました。当社では、国ごとに異なる規制に対応しながら、従業員の健康と安全確保を最優先に事業継続に取り組みました。一方で、国内の消費物流分野では、外出自粛に伴い宅配ビジネスが堅調に推移しました。全体としては、生産性向上によるコスト削減を進めましたが、電子部品の貨物取扱量が減少したことから減収減益を余儀なくされました。

第1四半期を底に徐々に市況は回復しておりますが、期初の予想よりも下半期は回復ペースが緩やかになる見通しです。その分を新規拡販で補い、上半期に作り上げた筋肉質のコスト構造をベースに、下半期以降の利益回復につなげてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年9月 第2四半期
IRレポート
～ 2020年4月1日から2020年9月30日まで～

株式の概況 (2020年9月30日現在)

■株式の状況



■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アルプスアルパイン(株)	16,526	46.7
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,804	7.9
TDK(株)	2,804	7.9
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	897	2.5
アルパイン(株)	792	2.2

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

会社情報 (2020年9月30日 現在)

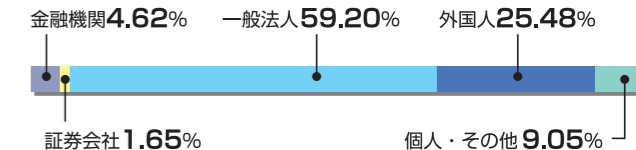
社名 株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756
 電話番号 045-531-4133 (代表)
 設立 1964年7月2日
 資本金 23億 4,904万円
 社員数 (連結) 5,986名 (単独) 977名
 運行車輛数 (連結) 3,428台 (単独) 695台
 倉庫面積 (連結) 866,772㎡ (単独) 294,868㎡

【株主優待制度のご案内】

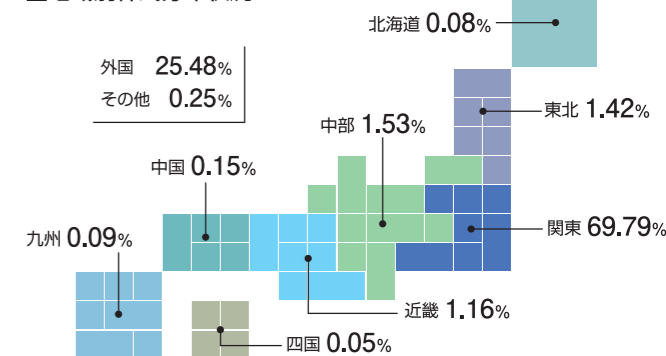
◆対象となる株主様: 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様

◆優待内容: QUOカード1,000円分 ◆贈呈時期: 6月下旬頃

■所有者別株式分布状況



■地域別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部
 公告方法 電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。
 ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

物流個性 ●ホームページURL <https://www.alps-logistics.com/>
 ●IR情報URL <https://www.alps-logistics.com/jp/ir/>
 お客様のための、最適物流を。

当第2四半期の連結業績実績及び通期予想

(単位：百万円、率：前年同期比増減)

2021年3月期 第2四半期累計(実績)	
売上高	44,765 (△12.6%) ↓
営業利益	1,455 (△29.5%) ↓
経常利益	1,449 (△25.5%) ↓
親会社株主に帰属する四半期純利益	797 (△35.0%) ↓

2021年3月期(予想)	
売上高	93,000 (△7.7%) ↓
営業利益	3,200 (△22.3%) ↓
経常利益	3,100 (△20.2%) ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	1,600 (△33.0%) ↓

連結業績の概況 (2020年4月1日～2020年9月30日)



当社は世界の各地域で新型コロナウイルス対策に十分な注意を払い、各国によって異なる規制に対応しながら、顧客のサプライチェーンが寸断しないよう、事業継続に取り組みました。主要顧客である電子部品業界においては、新型コロナウイルスの影響により、スマートフォンや自動車向けの生産が減少し、期の後半には徐々に回復の兆しが出てきましたが、全般的に荷動きは低調に推移しました。一方で、消費物流は宅配需要の増加により堅調に推移しました。当期の連結売上高は、前期比12.6%減の447億円に、連結営業利益は、29.5%減の14億円となりました。

▼電子部品物流セグメント

貨物取扱量の減少に対応すべく生産性向上によるコスト削減に取り組んだ結果、期の後半には回復に転じてきましたが、前半の落ち込みが大きく影響し、減収減益を余儀なくされました。

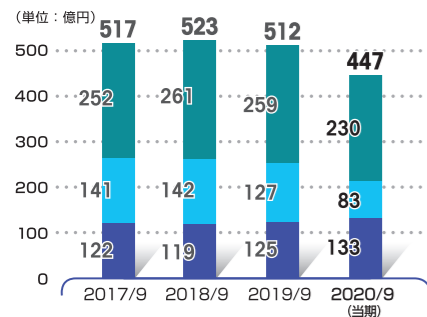
▼商品販売セグメント

欧米の自動車メーカー向けの需要減と海外顧客の現地調達の進行に伴い売上高が減少し、減収減益となりました。

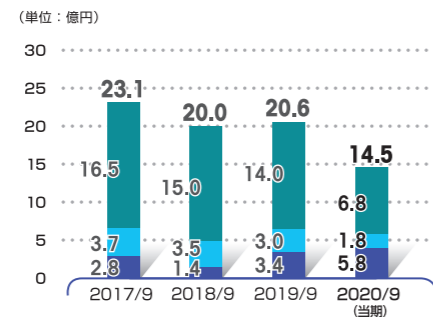
▼消費物流セグメント

医薬品関係の商品センター業務の拡販、新型コロナウイルスの影響で外出自粛や在宅勤務の広がりによる宅配需要の増加、生産性向上にも取り組み、増収増益を確保することができました。

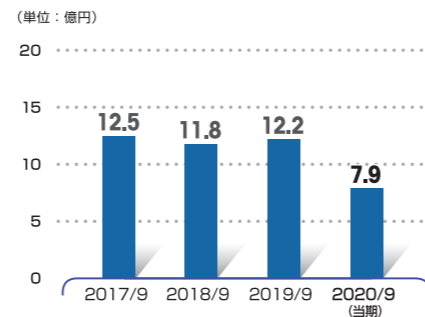
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



トピックス

ウェブサイトを全面リニューアル

当社は、ウェブサイトを全面リニューアルしました。今回のリニューアルでは、より情報が探しやすい、わかりやすいウェブサイトを目指し、構成やデザインを一新するとともに、物流ソリューションを中心にさまざまなコンテンツを準備いたしました。またスマートフォンからも快適にご利用いただけるよう対応しております。これからも内容の充実を図り、よりよいソリューションやタイムリーな情報の提供を目指してまいります。なお、リニューアルにともない、URLが変更になりました。ブラウザの「お気に入り」などに登録されている場合は、ご面倒をおかけしますが、新しいページのURLへの登録変更をお願いいたします。

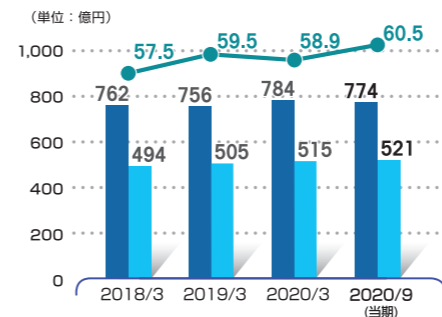


飛沫防止用デスクパーテーションを設計、販売開始

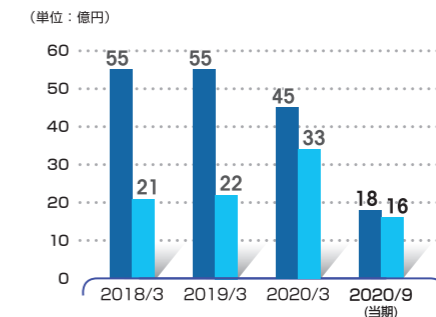
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当社では出勤前の検温等健康チェックの実施、マスクの着用徹底のほか様々な感染防止対策を実施しています。事業継続への影響ならびに各担当業務の効率性等を十分に勘案のうえ、間接部門では在宅勤務・時差出勤を可能な範囲で最大限実施しています。今般、当社は飛沫防止用デスクパーテーションの販売を開始しました。普段は製品トレイや梱包箱などを設計する包装設計課が設計。お客様のニーズを受けて改良を重ね、3種のパーテーションが生まれました。工具不要で簡単に組み立てることができ、お客様から高評価をいただいています。



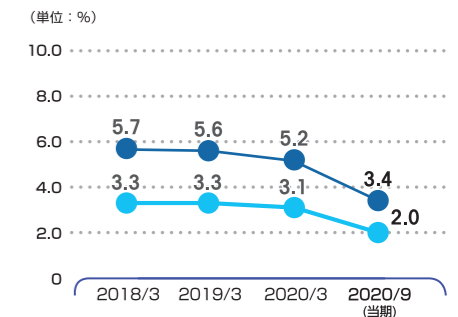
財政状況



設備投資・減価償却費



ROE・ROA



※ 2020/9期は年率換算して算出しています。